令和元年11月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第663号

林業福島

No. 663

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

11 2019

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■山林の手入れ―休み

森の健康管理

一般社団法人福島県造園建設業協会
会長　諸　井　道　雄

このたびの台風一九号の被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、被害状況の把握をはじめ復旧に向けてご尽力されている方々に深く敬意を表します。

近年、気象現象が極端化しており、降雨による激しい土砂崩壊や流木が発生するなど、災害の形も変化してきているように思います。去る九月の台風一五号は、暴風で多数の樹木が倒され電線や電柱を直撃した様子が連日のように報道されました。また千葉県によりますと道路被害は約九、〇〇〇ヶ所に上り、多くは倒木によるものでした。地元の方のお話によると、その倒木の状況は異常であり、幹の途中で折れ、千葉県に多く存在する「サンブスギ」は、非赤枯性溝腐病に罹りやすいという弱点を持っており、罹病すると幹の内部が腐るという特徴があります。この病気は適正な間伐が行われていない森林で罹りやすいといわれており、今回の倒木被害に繋がったとの見方もあります。

林野庁は、整備が行き届かない私有林を市町村が集約し、意欲ある事業者に委託できる「森林経営管理制度」を今年の四月から始めました。この制度を一番に活用したのが埼玉県秩父市で所有者の半数近くが希望をしたといいます。

縄文の時代から森林は日常生活と深い繋がりがありました。木は、建材や燃料、木材加工品として生かされてきましたが、その後燃料の変化や住宅様式の変化、木材加工品の需要低下等々により森林に人の手が入らなくなってしまいました。森林は、長い歴史の中で様々な社会情勢により、荒廃と再生を繰り返してきましたが、今は、乱伐ではなく人の手が入らなくなったことで荒廃という危機に直面しているのかも知れません。

県土の七割が森林である福島県の現状はどうでしょうか。近年多発している集中豪雨等による土砂災害への備えとしても「適切な森林管理」は絶対であり、そのための林業の担い手確保と育成も不可欠であります。また、山だけではなく海にも面しているわが県は、山と海の関係にも着目しなければなりません。「森は海の恋人」と言われますが、川が運んでくれる森の栄養が海の幸を豊かにしてくれます。日頃より「林業福島」が、情報提供しているとおり、きちんとした形で人の手が入った森林や山林は、防災や減災の効果があり、海の幸までも豊かにすることを思うと、改めて大事な森林を不健全にしてはなりません。

今回の台風の教訓はまさに「適切な森の健康管理」ではなかったでしょうか。

《もくじ》

とびら
森の健康管理
一般社団法人福島県造園建設業協会
会長　諸　井　道　雄……1
第２回ふくしま植樹祭開催……2
県政コーナー
林業従事者・木材事業者の方へ融資制度のご案内
〈林業・木材産業改善資金〉……３～４
【速報】令和元年台風第19号による被災状況と
復旧に向けて ……３～４
第２回次世代を担う子供たちによる森林づくり
会議を開催！！……5
福島県優良建設工事表彰について……6
全国治山林道協会長会議が福島県で開催…7
普及指導員通信……8
赴任のご挨拶……9
「第５回全苗連生産者の集い」開催される …10
木の文化を育む⑧……11
木材市況・ふくしま東西南北……12
はなしのひろば・お知らせコーナー……13

第二回 ふくしま植樹祭開催

ふくしま植樹祭実行委員会

令和元年十月六日(日)、第二回ふくしま植樹祭を、安達郡大玉村のふくしま県民の森地内において開催しました。

参加者全員による記念撮影

昨年十一月に南相馬市で開催した「第一回ふくしま植樹祭」は、県民参加による森林づくりの推進や、復興に向かって歩み続ける福島の姿を広く発信する、全国植樹祭の開催理念を引き継ぐ大会となりました。今回の大会も引き続き新たな年号のもと、植えて、育てて、利用して、また植える持続可能な循環の森林づくりを進めるとともに、ふるさと再生への思いを込めた植樹活動等を行いました。また、「未来へつなぐ希望の森林づくり」をコンセプトに、未来を担う子どもたちに、美しいふるさとを継承するために、県内外の多くの方々と森林づくりを行い、福島との共感の輪を一層広げ「森林づくりを続ける、広げる、繋げる」をテーマとして開催しました。

開催当日は、早朝から県内外より関係者も含め約二、〇〇〇名の方に参加をいただきました。

開会式は、福島県井出孝利副知事、ふくしま植樹祭実行委員会の齋藤卓夫委員長、押山利一大玉村長、二〇一九ミス日本みどりの女神の藤本麗華さん、二〇一七ミス日本みどりの女神の野中葵さんの五名が登壇し挨拶などを頂き、昨年の第一回開催地であった南相馬市の門馬和夫市長から今回開催の押山利一大玉村長へバトンリレーセレモニーや、記念植樹、参加された皆様による記念撮影を行いました。

式典終了後、班ごとに植樹・育樹活動に取り組みました。

コブシなどのふくしま県民の森に自生する十種類の樹木を植樹するとともに、昨年六月に開催された全国植樹祭時に植栽した「少花粉スギ」の育樹活動に約二時間汗を流しました。

式典会場では、植樹・育樹活動を終了した参加者の皆様に、無料で大玉村千人鍋による豚汁やお茶を配布させていただきました。

あいにくの天候の中、多くの方々に参加いただき、盛大に開催できましたこと、また、関係者の皆様のご協力により無事終了できましたことを深く感謝いたしますとともに、これからも多くの方々に参加していただける大会となるよう取り組んでまいります。

記念植樹

植樹活動

県政コーナー

林業従事者・木材事業者の方へ融資制度のご案内〈林業・木材産業改善資金〉

県では、林業従事者や木材事業者の方が経営改善のために行う新たな事業部門の経営の開始、林産物の新たな生産・販売方式の導入等の先駆的取組などに対し、必要な資金を無利子で融資しています。

1　貸付対象者

(1)　林業
森林所有者、林業労働従事者、森林組合、素材生産業者　等

(2)　木材産業
木材製造業、木材卸売業または木材市場業を営んでいる方

2　貸付金交付日

貸付の決定・交付は年四回行います。
第一期　六月六日
第二期　九月六日
第三期　十一月六日
第四期　二月六日

3　貸付限度額

(1)　林業の場合
個人一、五〇〇万円
会社三、〇〇〇万円
団体五、〇〇〇万円

(2)　木材産業の場合
一億円（木材製造業、木材卸売業または木材市場業に係る事業を実施する場合）

4　償還期間

十年以内（うち、据置期間三年以内）※償還期間の特例あり

5　連帯保証人及び担保

貸付額に応じ、左記のとおり連帯保証人が必要となります。
貸付金額五〇万円未満　一人以上
貸付金額五〇万円以上五〇〇万円未満　二人以上
貸付金額五〇〇万円以上　三人以上
※貸付金額が五〇〇万円以上の機械等の購入または設置の場合には、その機械等に対し、譲渡担保契約が必要です。

6　貸付対象となる事業

(1)　新たな林業部門の経営の開始
〈例えば〉
・森林施業の受委託を始めるために必要な委託料や、機械施設の導入
・木炭の生産を始めるために必要な機械、施設の導入
・しいたけ栽培を始めるために必要な施設、資材等の導入

(2)　林産物の新たな生産方式の導入
〈例えば〉
・作業効率の向上等のための高性能林業機械の導入
・木質バイオマス利用施設の導入
・木材の生産性向上のための木材乾燥施設の導入
・森林施業集約化のために必要な林業機械、運搬用トラック等の導入

(3)　林産物の新たな販売方式の導入
〈例えば〉
・厳密な品質管理が行えるグレーディングマシンの導入
・原木市場と顧客間のネットワークを構築する販売管理システムの導入
・原木の安定供給のために行う立木の取得や機械の導入
・木材の付加価値を高めるために必要な森林認証の取得

(4)　新たな木材産業部門の経営の開始
〈例えば〉
・継手、仕口加工を行えるプレカット加工施設の導入
・未利用材の有効活用のための割り箸製造機械の導入
・森林整備により発生する小径木の有効活用のための木材チップ

速報　令和元年

台風第一九号による被災状況と復旧に向けて

福島県農林水産部森林林業総室

このたびの台風一九号による豪雨により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回の台風は、本県を含む十三都県に大雨特別警報が発令、土砂災害や河川の氾濫、低地の浸水が相次ぎました。

県は、十月十二日十五時に災害対策本部を設置し、被害状況等の把握を行うとともに、市町村支援業務、避難者支援、応急復旧等業務を全庁で取り組んでいます。

◎被害の状況

十月六日三時に南鳥島近海で発生した台風第一九号は、十二日十九時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸し、その後も勢力を維持したまま十三日未明には福島県を通過して明け方には宮城県沖に抜け、十三日十二時に北海道の南東海上で温帯低気圧となりました。

福島県では、十月十一日から前線の影響で雨が降り出し、特に台風の接近・通過に伴い、非常に激しい雨となり、局地的には猛烈な雨となりました。十月十一日十五時から十三日六時までの総雨量は、福島県の広い範囲で二〇〇ミリメートル以上の大雨となり、川内　四四五・五ミリメートル、福島市鷲倉　三八二・五ミリメートル、白河　二七三・〇ミリメートルと十月一か月の平年値の二～三倍の雨量となりました。

十月三十日時点における農林水産業の被害総額は、農地や、農業用施設、林地、農作物で約二六六億円にのぼっ

(5) 製造施設の導入
林業労働に係る安全衛生施設の導入
〈例えば〉
・安全衛生上の性能が高い防振装置付きチェーンソーの導入
・※冬期間の振動障害防止のための暖房装置付き人員輸送車の導入
※振動障害防止には体を冷やさないことが重要であるため

(6) 林業労働に従事する者の福利厚生施設の導入
〈例えば〉
・作業の快適性を向上させるためのシャワー施設の導入

林業労働に係る安全衛生施設の導入（チェーンソー）
出典：林野庁HP

資金の借り入れには、林業・木材産業改善措置に関する計画書を県に提出し、認定を受けるなどの手続きが必要となります。融資をご希望の方は、住所・所在地を管轄する各農林事務所（別表）までご相談ください。

林産物の新たな生産方式の導入（フォワーダ）
出典：林野庁HP

林産物の新たな生産方式の導入
（バイオマスボイラー）出典：林業振興課

林業・木材産業改善資金の問い合わせ先

区　　域	事務所名	電話番号
県北地区（福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡・安達郡の町村）	県北農林事務所　森林林業部	024-521-2632
県中地区（郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡・石川郡・田村郡の町村）	県中農林事務所　森林林業部	024-935-1367
県南地区（白河市、西白河郡・東白川郡の町村）	県南農林事務所　森林林業部	0247-33-2123
会津地方（会津若松市、喜多方市、耶麻郡・河沼郡・大沼郡の町村）	会津農林事務所　森林林業部	0241-24-5735
南会津地方（南会津郡の町村）	南会津農林事務所　森林林業部	0241-62-5375
相馬地方（相馬市、南相馬市、相馬郡の町村）	相双農林事務所　森林林業部	0244-26-4305
双葉地方（双葉郡の町村）	相双農林事務所　富岡林業指導所	0240-23-6084
いわき地方（いわき市）	いわき農林事務所　森林林業部	0246-24-6193

ています。

森林・林業・木材産業における被害は、箇所数で五九七箇所、被害金額では約五九億円に達しており、その内訳は、山腹崩壊等の林地被害が約一四億円、路体崩壊、法面崩落等の林道施設災害が約二四億円、製材工場の浸水、きのこ栽培施設の浸水など林産施設等被害が約二二億円となっております。

◎復旧に向けて

林地被害につきましては、その被害状況を踏まえ、緊急的に復旧工事を実施すべき箇所については、林地崩壊防止施設災害復旧事業、災害関連緊急治山事業、林地崩壊防止事業等による復旧工事の準備を進めるとともに、その他の箇所についても治山事業等による復旧に向けて取り組んでいきます。

林道施設災害は、生活道として活用されている路線について、管理者である市町村において早急に応急工事を実施するとともに、森林整備の用に供する路線等の被害による影響から早期に回復させるため、市町村と連携し復旧に努めてまいります。

製材工場等の林産施設等については、被害状況を踏まえ、被災施設等の復旧支援の実施について国へ求めていくこととしております。

◎お知らせ

農林水産部として各農林事務所企画部に「台風一九号災害に関する相談窓口」を設置し、技術対策、支援制度等について相談対応を行っておりますが、お困りのことがありましたら、お近くの農林事務所森林林業部又は、富岡林業指導所に御連絡ください。

また、「台風一九号による災害からの農林水産業復旧の手引き」をホームページに掲載しております。（https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/）

第二回 次世代を担う子供たちによる森林づくり会議を開催!!

Fukushima Green Scouts Summit

令和元年十月五日(土)、昨年に引き続き、第二回次世代を担う子どもたちによる森林づくり会議を、安達郡大玉村のふくしま県民の森、森林学習館において開催しました。

今回も、岐阜県立森林文化アカデミーの森林総合教育課長の川尻秀樹先生と特別参加のミス日本みどりの女神の藤本麗華さん、野中葵さんのお二人を加えた講師陣により、大戸小学校、大玉村の緑の少年団十四名の皆様とネットワークづくりに取り組みました。

「森林づくりの重要性・必要性」については、プロジェクターを使用し川尻先生からレバノンの杉の乱伐された歴史について、一度なくなった森林は元に戻らないことや自然を守るためにできることを行動に移してほしいことなど講話が行われました。その後、野外活動をふくしま県民の森の第二広場へ移動し、木の枝を活用した活動（スティック飛ばし・スティック立）を行いました。

記念植樹は、ベニシダレザクラ三本を参加者全員で植樹し、記念撮影を行い閉会しました。

今回の森林づくり会議も、県内の緑の少年団の代表による少年団のネットワークづくりと活動の情報交流を行い、森林づくりの重要性、必要性、意義などについて考え、理解を深めることができました。

参加者による記念撮影

スティック飛ばし

ミス日本みどりの女神

川尻秀樹先生の講話

福島県優良建設工事表彰について

福島県農林技術課

令和元年度福島県優良建設工事は、平成30年度に完成した工事を対象とし、農林水産部関係で７部門10件、土木部関係で16部門21件の受賞が決まりました。

ここでは、林業関係の受賞工事３件について紹介します。

治山部門

■**施工業者**　株式会社　日仙産業（白河市）　代表取締役　満山　喜美
■**事 業 名**　水源森林再生対策2901工事　西郷地区
■**施工場所**　西白河郡西郷村大字鶴生　地内
■**工事概要**　谷止工　Ｎ＝１基　　請負額　46,268,280円
■**寸　　評**　本工事は施工場所が標高600ｍの高所にあるとともに、河川法の許可により施工期間が洪水期以外に限られることから、計画的かつ適切な施工管理が求められる工事であった。

施工にあたっては、間伐材型枠用鋼材をリフト単位に工場製作することにより、冬期間の現場型枠組み立て作業を軽減し、施工性を向上させるとともに、型枠精度の向上が出来た。

また、コンクリート打設後の養生期間については、１時間毎にコンクリートの表面温度を測定し品質の確保を行うとともに、間伐材型枠工の天端固定方法、堤名版の周囲の面取りによる見栄えの向上に努めるなど、全体的な美観に優れた出来栄えとなったほか環境対策等についても高く評価できる。

治山部門

■**施工業者**　横山建設　株式会社（浪江町）　代表取締役社長　横山　佳弘
■**事 業 名**　防災林造成2903工事　浪江地区
■**施工場所**　双葉郡浪江町大字請戸字左島塚　地内　外
■**工事概要**　盛土工　Ａ＝4.31ha　　請負額　430,051,680円
■**寸　　評**　本工事は、防災林造成のための植生基盤盛土工であり、植栽木の根が十分に成長できるよう盛土が締め固まらない施工が求められる工事であった。施工にあたっては、レーザーレベル等を活用し施工精度の向上が図られた出来映えは極めて優秀であり、ロータリー式スタビライザーを用いた盛土表土の掻き起こしや超々湿地ブルドーザーによる仕上げなどにより、土壌硬度の低減化と透水性が確保され、良好な品質の生育基盤を完成させている。出来型は、ばらつきが非常に少なく、礫暗渠工の施工では掘削断面に合わせた特殊バケットの製作など、施工・管理の手法にも工夫が見られ、簡易トラックスケール設置による過積載防止などの安全対策も高く評価できる。

林道部門

■**施工業者**　株式会社　石覚組（小野町）代表取締役　石井　敏也
■**事 業 名**　林業専用道整備（県営）2902工事　上合内大平線
■**施工場所**　田村郡小野町大字浮金字棟内　地内
■**工事概要**　道路工　Ｌ＝947.9ｍ　　請負額　62,208,000円
■**寸　　評**　本工事は、立木伐採、伐採木整理・伐根除去に多大な手間を要したほか、急カーブ、急勾配であるうえ、暗渠工・横断工など多数の構造物が含まれ、なおかつ片押し施工など困難な条件が重なる中、単年度で947.9ｍの延長を新規開設する難易度の高い工事であった。

施工にあたってはICT技術の活用を提案し、設計図書をもとに作成した３Ｄデータを測量器通信携帯端末に入力し、自動追尾測量器と併せて使用することで、丁張設置数を減とし、測点以外の任意の場所でも切出し位置や設計勾配が確認可能となったほか、レーザーセンサーを取り付けた重機を使用し巻き出し厚さを正確に把握するなどして、工事の省力化・効率化を図りつつ、同時に出来形・品質の向上も可能にしており、高く評価できる。

全国治山林道協会長会議が福島県で開催

（公社）福島県森林・林業・緑化協会

令和元年十月十日（木）、十一日（金）の両日、（一社）日本治山治水協会と日本林道協会が毎年地方での開催を恒例としている「全国治山林道協会長会議」が本県で開催されました。関係機関のご協力をいただきながら、松崎浩司福島県農林水産部長、柳沼純子福島県議会副議長らのご出席を賜り、八四名が参加する福島らしい会議となりました。

会議は、郡山市のホテルハマツを会場に、当協会の齋藤卓夫会長の歓迎挨拶で始まり、林野庁の大政康史治山課長の講話、福島大学食農学類の林薫平准教授の講演と続きました。

齋藤卓夫会長は、東日本大震災の復旧・復興への支援に対するお礼を述べるとともに、福島県の美しい自然や豊かな食に触れ、皆様の地域で魅力を伝えて欲しいと歓迎しました。

大政康史治山課長は、「山地災害から地域を守る治山事業について」をテーマに、我が国の国土の特徴と歴史、近年の山地災害の発生状況、平成三〇年災害への対応、今後の効果的な治山対策を分かり易く説明されました。

林薫平准教授は、「二〇一一年東日本大震災以降の福島県森林・林業の復興状況」をテーマに、里山再生と森林資源の活用、県産木材の利用、馬搬用重種馬の導入、菌床シイタケの普及など、災害を乗り越えて復興に取り組む本県森林・林業関係者を、ご自身の研究を通して紹介されました。

タイトな国会スケジュールの中、郡山市まで駆けつけた治山治水、林道両協会の山口俊一会長が、規模の大きくなる集中豪雨など自然災害に対して、山を守り地域を守り、そして成長産業としての林業をしっかりやっていける形を作るのが、令和の新しい時代の大きな課題であり使命であると挨拶され、会議の部を終えました。

その後、同ホテルを会場として開催した懇親会では、兵庫県治山林道協会長の谷公一先生にも駆けつけていただき、復興に立ち向かう福島県民のシンボルでもあるフラ・タヒチアンダンスをご覧いただくとともに、全国新酒監評会で金賞受賞数七年連続日本一を達成した全二二蔵の日本酒と県産農産物を使った料理を全国の方々に味わっていただき、福島の復興と食の良さをアピールしました。

翌十一日は、浜通りと会津の二コースで現地調査を行いました。

浜通りコースは、廃炉作業を進める東京電力福島第一原子力発電所構内と海岸防災林造成事業「楢葉地区」を視察いただき、東日本大震災からの復旧・復興の状況を肌で感じていただきました。

会津コースは、一八八八年の磐梯山噴火後の緑化に取り組んだ遠藤現夢らが、一九一九年に「植林成功届」を政府へ提出してちょうど一〇〇年となる裏磐梯において、磐梯山ジオパーク協議会の蓮岡真ジオパーク専門員の解説を聴きながら、森林と湖沼の美を楽しんでいただきました。

全国治山林道協会長会議の地元開催に当たって、多くの方から支援をいただきましたことに、紙面を借りてお礼申し上げます。

山口俊一会長挨拶

齋藤卓夫会長の歓迎挨拶

大政康史課長の講話

林薫平准教授の講演

歓迎アトラクション

海岸防災林造成事業「楢葉地区」の視察

普及指導員通信

【いわき発】林業労働災害ゼロを目指して
― 刈払機作業の安全指導 ―

福島県いわき農林事務所
林業普及指導員　髙　橋　伸　二

１　はじめに

未来を担う若者たちに、就業先として「林業」を選んでもらうには、ケガなく安心して働くことのできる労働環境の確立が求められます。

今月は、現場における労働安全の推進に向けて、関係機関の連携により毎月１回実施している「先山ゼロ災推進安全巡回指導」の取組をご紹介します。

２　刈払機作業の安全指導

梅雨明け間もない８月２日、強い日差しが降り注ぐ中、現代の林業において最も過酷な作業である「下刈」の現場で、刈払機作業の安全指導を実施しました。

普及指導員の役割は、巡回先の選定、安全指導員等との連絡調整、当日の進行役であり、現場では、伐木作業等の安全対策に係る規制の変更点など、最新情報の普及を図りました。

■使用機械

20年ほど前まで主流だった「ツーグリップ式」（シャフト部分に持ち手の付いたタイプ）は見かけなくなり、現在では、刈刃の反発（キックバック）を抑えやすい「Uハンドル式」に加え、握り手を離すと刈刃の回転が止まる「動力遮断装置」の採用により、安全性の向上が図られています。

■刈刃

道路や畦の草刈では、チップソーが使われることが多くなりましたが、山林の下刈作業では、丸ヤスリを使って、現場で刃研ぎができる「笹刈刃」が主流です。

刃研ぎを繰り返した刈刃は、修正定規を使い、再び真円を出すことにより、余計な振動を抑えることが出来ます。なお、刈払機を運搬する際は、刈刃カバーを忘れずに装着しましょう。

■服装

真夏の下刈作業では、熱中症対策が肝心ですが、ここ数年は、送風ファン付きのジャンパーが活用されるようになりました。充電式の送風ファンで衣服内部に外気を送り込むことにより、ベンチレーション（換気）機能が発揮されるほか、上衣が膨らむことで、ハチ刺され対策（針が地肌まで届きにくい）にもなります。

１回の充電で１日（６時間程度）使用することができますので、未経験の方も、ぜひ導入を検討してみてはいかがでしょうか。

３　おわりに

巡回指導では、安全指導員からの講評の後、「質問タイム」を設けて、参加者どうしの意見交換を行っています。「質問タイム」を通じて、新たな「気づき」が得られるほか、普段の作業で感じていた疑問点が解消され、参加者全員がスッキリとした笑顔で巡回指導を終えることができます。

今後とも、林業労働災害ゼロを目指し、皆様とともにスキルアップを図ってまいりますので、ご指導・ご協力をよろしくお願いします。

山林の下刈作業では主流の「笹刈刃」

夏場の必須アイテム「送風ファン付きの上衣」

福島水源林整備事業所だより

赴任のご挨拶

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター　福島水源林整備事務所
折　笠　世　紀

本年四月より、福島水源林整備事務所主幹（造林係）として赴任しました。

平成五年に着任した、最初の赴任地である山梨県から数えて八県目になります。よろしくお願いします。

仕事の話ではなく、趣味の話になりますが、これを書いている時点で全国的に大きく盛り上がっている「ラグビーワールドカップ日本大会」について、予選プールを四戦全勝で突破し、世界からも注目されている日本代表ですが、前回大会でも日本国内で多く聞かれた「日本代表なのに外国人が多すぎるのでは？」といった意見がありましたが、実際に代表は三一人中十五人が外国出身者であり、日本を含めて七か国で構成されています。では他国はというと、同じ予選プールのアイルランドは五か国、スコットランドは七か国、別プールのイングランドも六か国となっており、ナショナリティが必須条件ではないラグビーの特徴を表していると言えます。この状態は日本だから特に目立つということもあります。

日本代表の主将を務めるリーチ・マイケル選手は、ダイバーシティ（多様性）が日本代表の特徴であり強みであることを強調しており、結果としてアイルランドとスコットランドという強豪国を圧倒して勝利するまでに至りました。

進化論の言葉として「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」があります。本当はダーウィンの言葉ではなくてどこかの経営者の言葉らしいですが、「変化できる者」は「適応能力を持つ者」であり、適応能力を持つには「多様性」が必要になり、多様性が強い者や賢い者を生み出すと言えるでしょう。

現在の日本は林業だけでなく、国全体が人口も経済も急速に縮小し、また精神的にも内向きになっているようです。その中で日本ラグビーフットボール協会は世界一を目指す宣言をし、ラグビー日本代表は快進撃を続けています。ラグビーとラグビー日本代表は多様性を持つことの重要性を示すと同時にこの国の希望です。

かなり暑苦しい文章となってしまいましたが、十一月二日の決勝は桜と黒い巨人たち、もしくは赤い薔薇が相まみえていることを信じつつ赴任の挨拶とさせていただきます。

苗協だより

「第5回全苗連生産者の集い」開催される 福田三郎さん（会津美里町）農林水産賞を受賞

福島県農林種苗農業協同組合

令和元年九月五日、全国から山行き苗木の生産者等三五〇名が一堂に会して、「第五回全苗連生産者の集い」が生産技術の向上と生産者間の交流を図ることを目的として全国山林種苗協同組合連合会、愛媛県山林種苗農業協同組合の主催により、愛媛県松山市で開催されました。

大会では、後援となっている愛媛県知事、松山市長の歓迎のことば、来賓として林野庁長官の挨拶があり、その後、優良生産者の表彰が行われました。平成三〇年度全国山林苗畑品評会で農林水産大臣賞に輝いた、福田三郎さん（会津美里町）が表彰されました。

福田さんご夫妻は後継者の息子さんとともに、山行き用としてスギの裸苗とコンテナ苗を年間約五万本生産しています。優れたスギの苗木を生産する高い技術力と、生産に向き合う姿勢などが、全国の生産者の模範として高く評価されました。なお、本県からの農林水産大臣賞は平成二九年度に続き二年連続の受賞となりました。

翌日の九月六日は視察研修が行われ、愛媛県でスギ苗等を生産している成瀬緑化産業㈱、クヌギのコンテナ苗を生産している愛媛県森林組合緑化センター、大規模にスギコンテナ苗を生産している高知県の住友林業㈱本山樹木管理センターを視察しました。

「第六回全苗連生産者の集い」は、令和二年九月に福島県で開催されることが決まりました。「福島に行って良かった」と言って頂けるように、実りのある大会にしたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。

農林水産賞を受賞した福田三郎さん

住友林業㈱本山樹木管理センター

福田三郎、久美子さんご夫妻

木の文化を育む⑧

福島県森林自己学習支援事業（郡山女子大学 建築デザインコース）

郡山女子大学 人間生活学科 建築デザインコース 准教授 阿　部　恵利子

○はじめに

福島県では、ふくしまの森林に関する自己学習を推進するために、森林自己学習支援事業として、二〇歳前後の青年を対象に補助金を交付しています。郡山女子大学人間生活学科建築デザインコースでは、森林自己学習支援事業を活用して、建築を学ぶ女子大学生が大工職人の方々から技術や知識を学び、福島県産材の利用法について検討、実践する取組を行っています。福島県建築大工業協会の協力を得て、プロジェクト名は〝女子大学生と職人さんがコラボ㊙の技術・知識を未来へ届けるプロジェクト〟です。このプロジェクトは、森林のフィールドワークや木材加工など、さまざまな体験を通して、建築というモノづくりの未来を見据え、考えていく契機となっています。

○伐採加工の現場見学

伐採は菅野建築株式会社（福島・二本松市）の自社山林、製材所にて行われました。学生たちは杉の伐採を間近で見学し、丸太が建築部材になるまでの一連の加工過程を体験すると共に、墨付けから手刻みによる加工やプレカットとの違いなどを学びました。

○大工さんによる講演会

伐採加工に引き続き、郡山女子大学のキャンパスにて大工職人の方々による講演会を実施しました。

講演会では協会青年部の大橋祐一部長と伊藤大輔副部長が講師を務め、木材の耐久性や耐火性、木造建築のメリットやメンテナンスの大切さ、空き家リノベーションなど、木造建築の可能性について講演しました。また、学生たちは大工職人の腕の見せ所といわれる手の込んだ継手に実際に触れることで、継手、仕口をつくる技術の精巧さに驚いていました。

○ヒノキの小屋組み造り

講演後はヒノキの小屋組み造りワークショップを実施しました。学生たちは大工職人の方々から指導を受けながら、鋸（のこぎり）や鑿（のみ）など初めて手にする大工道具を使いながら木材加工と建て方に挑戦し、およそ二時間でヒノキの小屋組みを完成させました。学生たちは、「大変だったけど完成した時は達成感があった。」「伐採から加工、そして形にする楽しさ、とても良い経験になった。」などと話していました。

○まとめ

地域の木材を使う建築は、社会環境や地域産業と密接に関連しています。将来、建築士として活躍するであろう学生たちが、地域の森づくりに関心を持ち、地域において、その恩恵が生まれるような魅力ある建築をつくるためにも、森林状況を知り、その背景を理解する事、そして未来に向けて林業、製材、工務店、設計者、発注者が一緒になって地域の課題に取り組むことが必要ではないでしょうか。このプロジェクトが木造建築の素晴らしさやモノづくりの楽しさを未来へ伝えていく良い機会になる事を祈ります。

伐採加工の現場見学

ヒノキの小屋組み造り

木材市況

七月の原木市場への入荷量は、前月比一四パーセント減（前年比一五パーセント増）の二一、六三二立方メートルとなっている。

販売量は、前月比一二パーセント減（前年比一七パーセント増）の二二、三七一立方メートルとなっている。

八月の価格は保合いとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（2019年８月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	10 (10～10)	0	(0～ 0)		10 (10～10)	0	10 (10～10)	0
		10～14		並	スギ	12 (11～13)	0	(0～ 0)		12 (11～12)	0	12 (11～13)	0
	中	14～22	3.00	並	スギ	12 (10～13)	0	11 (11～11)	0	12 (12～12)	0	12 (10～13)	0
				並	ヒノキ	19 (16～22)	0	18 (18～18)	0	15 (14～16)	0	17 (14～22)	0
			6.00	並	スギ	16 (15～17)	0	13 (10～15)	0	17 (16～17)	0	15 (10～17)	0
				並	ヒノキ	30 (25～35)	0	(0～ 0)		23 (20～25)	1	26 (20～35)	0
		20～28	3.65	並	スギ	11 (10～12)	0	11 (10～13)	0	12 (11～13)	0	11 (10～13)	0
			4.00	並	スギ	11 (10～13)	0	11 (11～11)	0	12 (11～13)	1	11 (10～13)	0
				並	アカマツ	9 (7～12)	0	(0～ 0)		10 (9～10)	0	9 (7～12)	0
			1.80	並	アカマツ	8 (5～11)	0	(0～ 0)		9 (9～ 9)	0	8 (5～11)	0
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	(0～ 0)		(0～ 0)		30 (30～30)	0	30 (30～30)	0
				並	米マツ	(0～ 0)		39 (39～39)	0	28 (28～28)	0	34 (28～39)	0
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		25 (25～25)	0	25 (25～25)	0
			4.00	並	アカマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		25 (25～25)	0	25 (25～25)	0
				並	カラマツ	(0～ 0)		18 (18～18)	0	25 (25～25)	0	22 (18～25)	0
パルプ用材				並	マツ	7 (7～ 7)	0	(0～ 0)		7 (7～ 7)	0	7 (7～ 7)	0
				並	広葉樹	10 (10～10)	0	(0～ 0)		(0～ 0)		10 (10～10)	0

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0～ 0)		7 (6～ 9)	0
	13～14		並	カラマツ	12 (11～14)	0	9 (7～10)	1
	16以上		並	カラマツ	14 (13～15)	0	9 (9～10)	0

注）1．前月差の△印は値下りを示す。
2．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
3．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

富岡生活のお気に入り

富岡林業指導所　國分真悟

富岡林業指導所がある双葉地方は、原子力発電所事故以降放射線量の低減に応じて順次避難指示が解除され、全町避難が続く双葉町もＪＲ双葉駅周辺などが来春解除される見込みだ。

町村の帰還が進むにつれコンビニや食堂が再開し、出張時に昼食難民になることが少なくなってきた。そこで、まだまだ再開した食堂の数は多くはないものの双葉地方のお気に入りの店を紹介してみたい。

最初に葛尾村の石井食堂は、店の再開がニュースで取り上げられるほど有名なので紙面の関係上詳細は省略する。まずは、楢葉町の道の駅隣にある「こだわりの味　豚壱」は秘伝のタレを使用した「豚丼」オンリーの店。薄くスライスされ香ばしく焼き上げられた豚肉に絶品の甘辛タレがかけられた豚丼は、小盛りから大盛りまで選ぶことができ、駐車スペースも広いことから人気店となっている。次に、最近新規開店した浪江町の「中華料理　濃河」は、ラーメンとのセットメニューがおすすめ。ラーメンは定番の塩、味噌、醤油、豚骨に加え、真っ赤なスープの激辛があり、セットメニューの唐揚げ、チャーハン、餃子と組み合わせが可能。個人的には、写真の豚骨ラーメンと唐揚げのセットがおすすめ。特に塩コショウで食べるアツアツの唐揚げは、夕食時まで満腹感が続くほどボリューム満点。続いて、ボリュームはそこそこだが富岡町の「さくらモールとみおか」のフードコートにある「カレーと餃子のお店さくら屋」のカレーは、味のレベルが高くまた、コロッケ等のトッピングやテイクアウト、ワンコインメニュー等が充実していることから、おすすめの店である。

双葉地方には営業している食堂等が少ないため、出張等で来所する際の参考となれば幸いです。

写真奥から「激辛ラーメンとチャーハンのセット」、「豚骨ラーメンと唐揚げのセット」

はなしのひろば

月

見上げれば満月。澄んだ秋の空気の中で静かに、大きな明るさである。アスファルトに落ちる歩く影もまた人知れず静かである。月は、四季それぞれに趣があるが、秋の月が清明で特に美しく感じられる。月の光もまた美しく、その光がつくる影も心なしか美しい。

今から二〇年前、剣道の練習を終えた当時中学二年だった息子と、帰宅途中に見上げた秋の月のなんと美しかったことか、今でも忘れられない。ふと息子を見ると、今日の剣道着も汗で重たそうだ。この汗にどれだけ鍛えられていることだろう…。月の光に見せられた剣道着もまた美しく、息子の強い志を感じた一瞬の思い出である。

秋の月は、その時々の眺める気分によっても感じ方が異なる。季節の風情に思いを馳せたり、地球のたった一つの自然衛星を眺めて壮大な宇宙を感じたりと、見る者の心を自由に遊ばせてくれる。天空に輝き日々変化する月の形に魅せられ、昔からたくさんの名前もついている。お月見は、中秋の名月を見ることだが、ひとりではなく風流の心を同じくする人が集まって眺める時に使うそうだ。

しかし、暦で十一月八日は、もうすでに「立冬」となる。風景や事物に「これは秋」「これは冬」と枠をはめ始めたのは、連歌が流行し始めた鎌倉時代からのようだ。立冬は、そろそろ秋を終う準備を、ということなのかもしれないが、晩秋の枯れ色の風景、木の葉時雨（木の葉の落ちる微かな音）など名残深く、もう少し風情を楽しみたいところだ。（都）

表紙の写真

「山林の手入れ―休み」
第16回ふくしま森林・林業写真コンクール
最優秀賞（県知事賞）
受賞者　柏舘　健さん（いわき市）
撮影場所：古殿町

編集　福島県
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
発行　（福島市中町五番一八号県林業会館内）
発行人　水戸　典明
陽光社印刷株式会社
（定価　一一〇円）

お知らせコーナー

「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」

遊ぼう！学ぼう！福島の森と木の親子体験教室　参加者募集

１　開催日時及び場所

【福島会場】日時：令和元年12月１日（日）　13時00分～15時40分
会場：ビッグパレットふくしま　中会議室（３階）

【東京会場】日時：令和元年12月21日（土）　13時00分～16時00分
会場：品川シーズンテラスカンファレンス　タワー棟（３階）

２　参加定員・参加料・参加者プレゼント

定員：各会場　親子100組200名（応募者多数の場合抽選）
※参加者は、祖父母と孫などの組合せも可能です。
推奨年齢：小学校　中学年以上
参加料は無料で、参加者にはプレゼントがあります。

３　お申し込み締切／抽選結果日

申込締切【福島会場】11月15日（金）17時00分（必着）
【東京会場】12月６日（金）17時00分（必着）
抽選結果【福島会場】11月19日（火）
【東京会場】12月10日（火）

お申し込み受付・問い合わせ先
一般社団法人　全国林業改良普及協会　シンポジウム事務局
電話：03－3584－6625　FAX：03－3583－8465　担当者：本永、三石、森本
http://www.ringyou.or.jp/hukyu/detail_1540.html

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹
または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ

GP-35B グラップルプロセッサ

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ
- 最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- 全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- 大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新の GP-8 コントローラを搭載
- 5.7 インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
- 感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
- A,B,C,D の 4 コード毎に 4 種類、合計 16 種類の測長設定値
- 樹種を 4 種類登録でき、個別に測長調整値の設定が可能
- 材積集計機能を標準で搭載

新開発のスタッドローラ（オプション）
- 鉄輪の全周に装着された無数のスタッド（鋲）が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
- 特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンスが容易

For the future with forest

イワフジ工業株式会社
http://www.iwafuji.co.jp/

（北関東支店） 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場） 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1
（支　　店） 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

林業福島 十一月号 通巻第六六三号
昭和四十二年二月二十四日第三種郵便物認可
令和元年十一月一日発行（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一一〇円
年間購読料一、九八〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シート

ハチ退治

ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ　TEL. 03(6740)7777
平日 9:00～17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®

人と共に　緑と共に

For Professional

BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional

GZ3950EZ
排気量 39.1cc
／
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR

刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100

破砕径：200mm　出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1